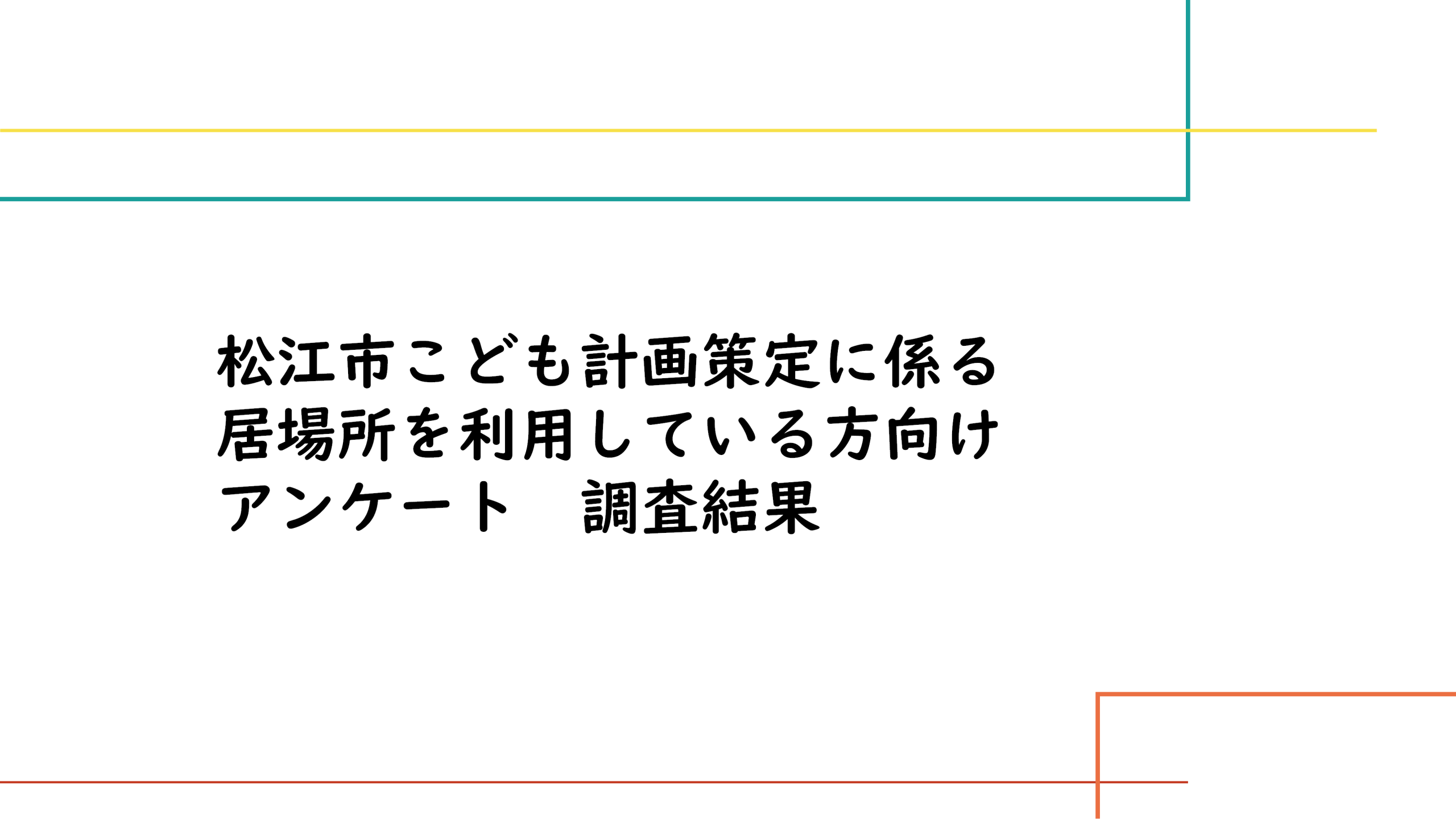




松江市こども計画策定に係る 居場所を利用している方向け アンケート 調査結果

1

調査の概要

調査目的

令和5年12月に閣議決定されたこども大綱をもとにした松江市版こども計画を策定するにあたり、こども大綱の目指す「こどもまんなか社会」はすべてのこども・若者が身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会を実現するため、こども・若者の意見や行動を把握する。

調査の期間

- ・令和6年10月8日～10月31日

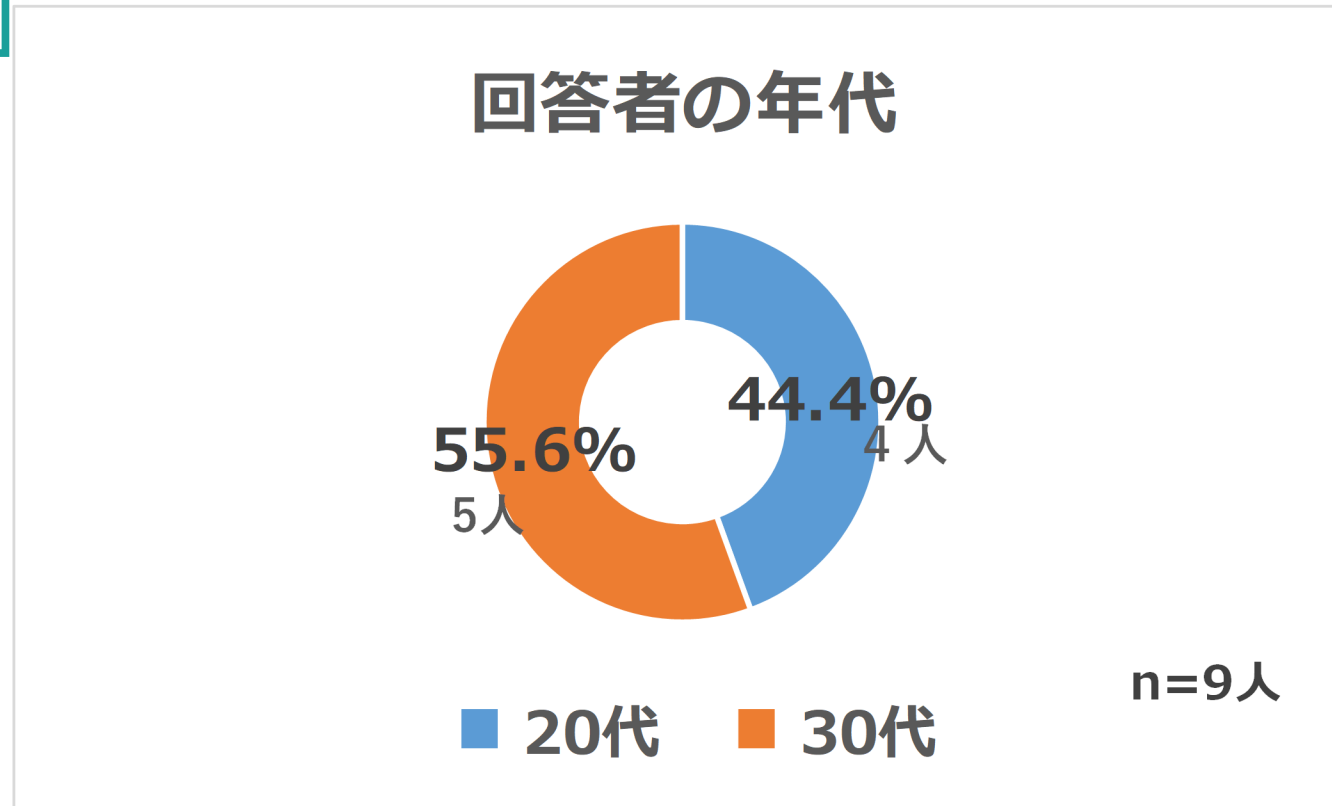
対象者

- ・松江市内にある居場所を利用されている方

調査方法

- ・インターネットフォームを使ったWebアンケート

2. 回答者の年代



総回答者数 9 人

2カ所の居場所からご協力をいただき、9人から回答をいただいた。
年代は20代が4人、30代が5人であった。

・ 調査項目

1. 利用している居場所について良いと思うところは何ですか。
2. どのような環境の居場所だと、利用したいと思いますか。
3. 今、悩み事がありますか。
4. 悩み事を誰に相談していますか（したいと思いますか）。
5. 悩み事をどんな方法だと相談しやすいですか。
6. 市に求めることなどあれば教えてください。

3. 調査結果

1. 利用している居場所について良いと思うところは何ですか。

- みんなが優しく、和やかに話せる。県外から引っ越してきたので知り合いがいなかったが、居場所のおかげで地域や島根県の方々との繋がりができた。
- 定期的に開かれていて、いる間自由に過ごすことができるところ。
- 不登校やひきこもりが対象の居場所ではあるが、そうでない人であっても幅広く利用できるところ。年齢制限などもなく、利用者を就労につなげるなどの成果主義の形を取っていないところ。
- 年齢制限がなく、利用しやすい。男女問わず仲良くできるからいい。
- 同じような経験をした仲間がいること。話し相手がいること。
- 気軽に行けること、交流の場所となっていること。
- ゆったり過ごすことが出来て、スタッフや利用者さんや居場所の皆さんもとても優しく、スタッフさんも良く話を聞いて下さり助かってます。
- 運営してる時間内なら何時に行ってもいい、何時に帰ってもいいところ。支援員の方々、同じ居場所を利用している利用者の方々がとても優しく、いつも色々とよくしてもらっている。社会での居場所があると思える。支援員の方々がいつも気遣ってくれる。居心地がいいこと。本があること。好きなことができること。同じ利用者の方々とお話をしたり、ボードゲームをしたりなど交流ができること。毎月イベントがあるところ。
- 居心地が良く、過ごしやすい。

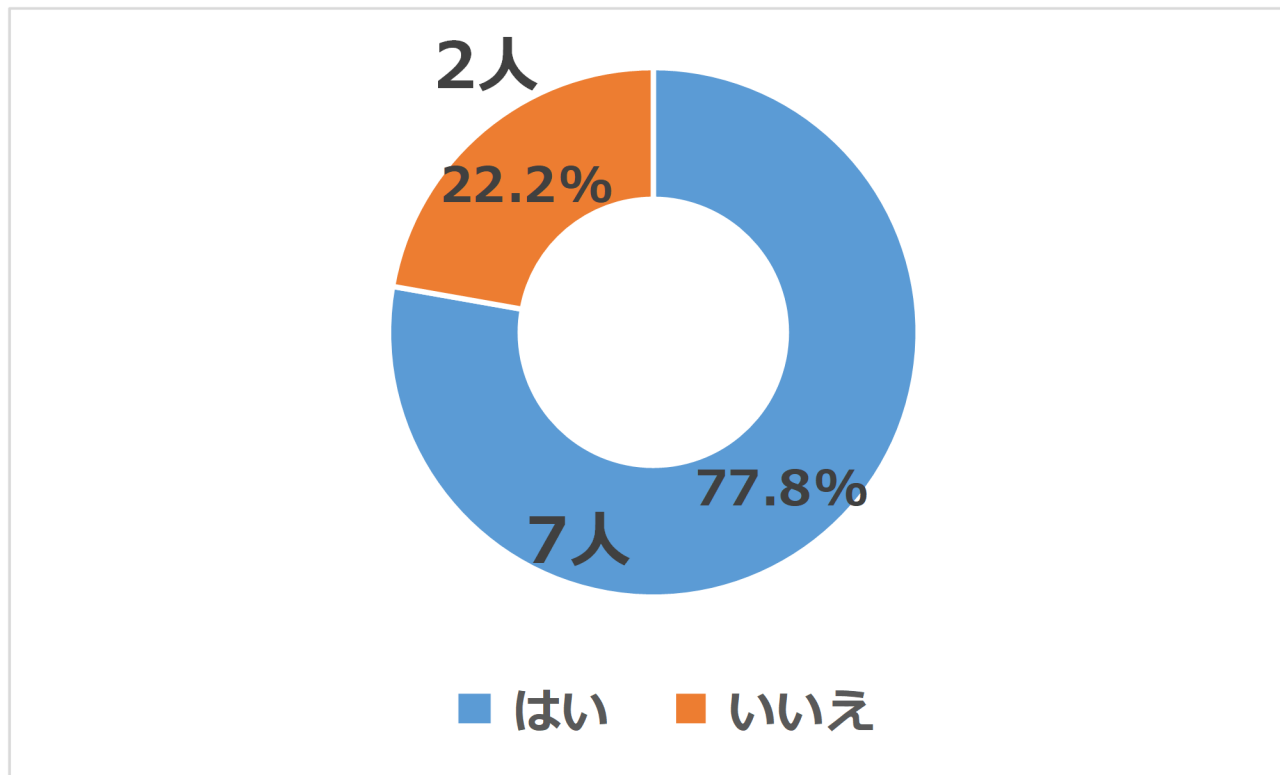
3. 調査結果

2. どのような環境の居場所があると利用したいと思いますか。

- 毎日やっていていつもスタッフが在駐している、スタッフに相談できる居場所。
- 利用できる時間が長く、広々としたスペースがあり、1人の空間も確保できる。
- 手ぶらで行っても楽しめる。
- 持ち込みで勉強道具を持っていつでもできるような机がある。
- 開所している曜日や時間帯ができるだけ多いところ。
- 気軽に立ち寄ることのできる雰囲気や、スタッフの人柄。やらされることのない、居るだけでもいい居場所。
- 松江市内にあるといい。
- いつでも誰でも集まれる場所。
- 相手の状況を気にせずに話し合える環境。
- 色んな本があって読める。
- 何時から入ってもいい、帰ってもいいなど気軽に立ち寄れる場所。
- 自分の好きなことができること。
- アニマルセラピーやゆったり読書が出来る。
- 動物たちとのふれあいができる場所。
- 自分がふらっと行きたい時間に行けることができる。
- ちょっとしたカフェとかお菓子も食べてくつろげる。
- ちょっとした体験も出来る居場所。

3. 調査結果

3. 今、悩み事がありますか。

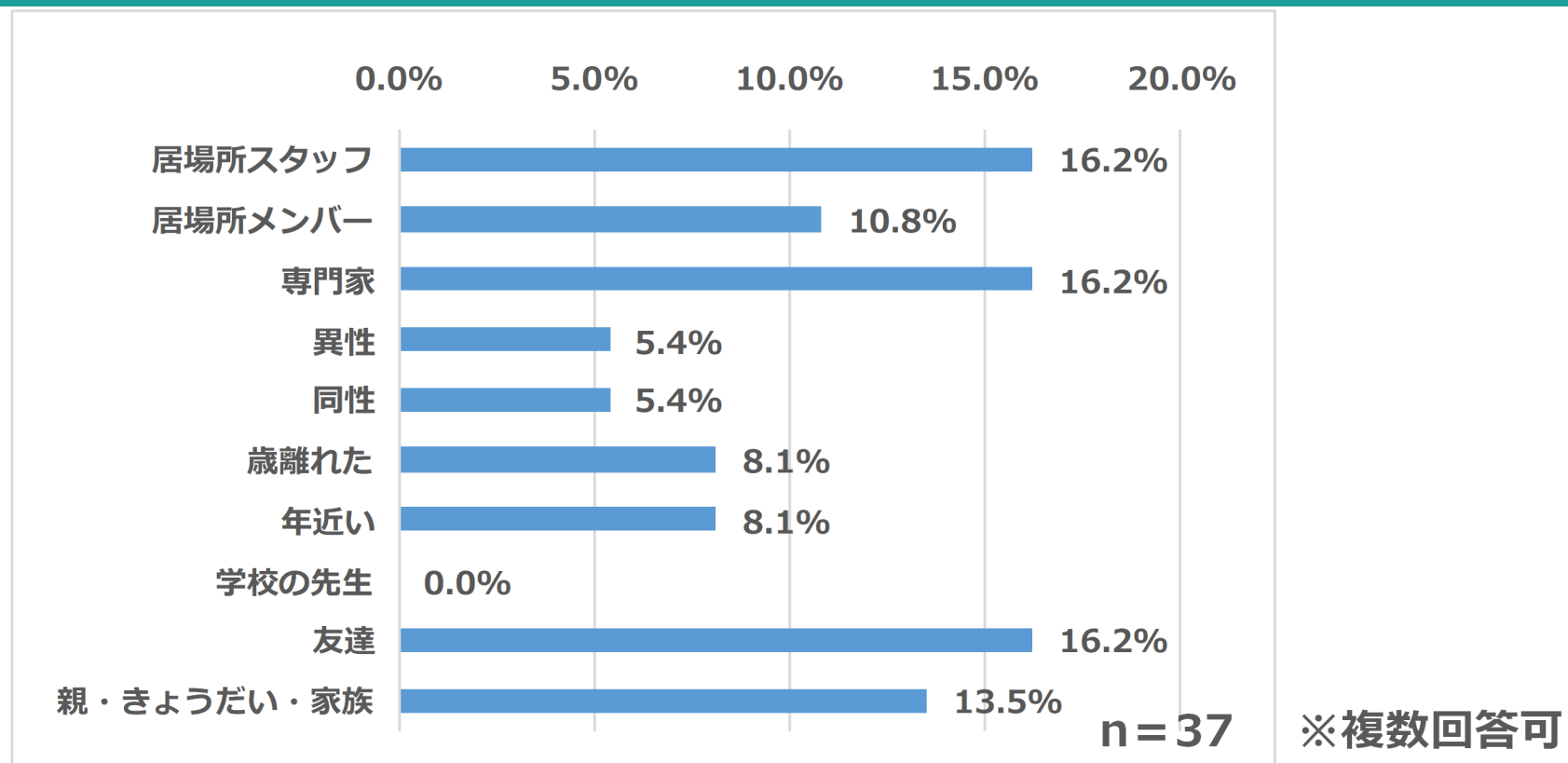


総評

9人の回答者のうち、悩みがある人は7人、悩みがない人は2人であった。

3. 調査結果

4. 悩み事を誰に相談していますか。 (したいと思いますか。)

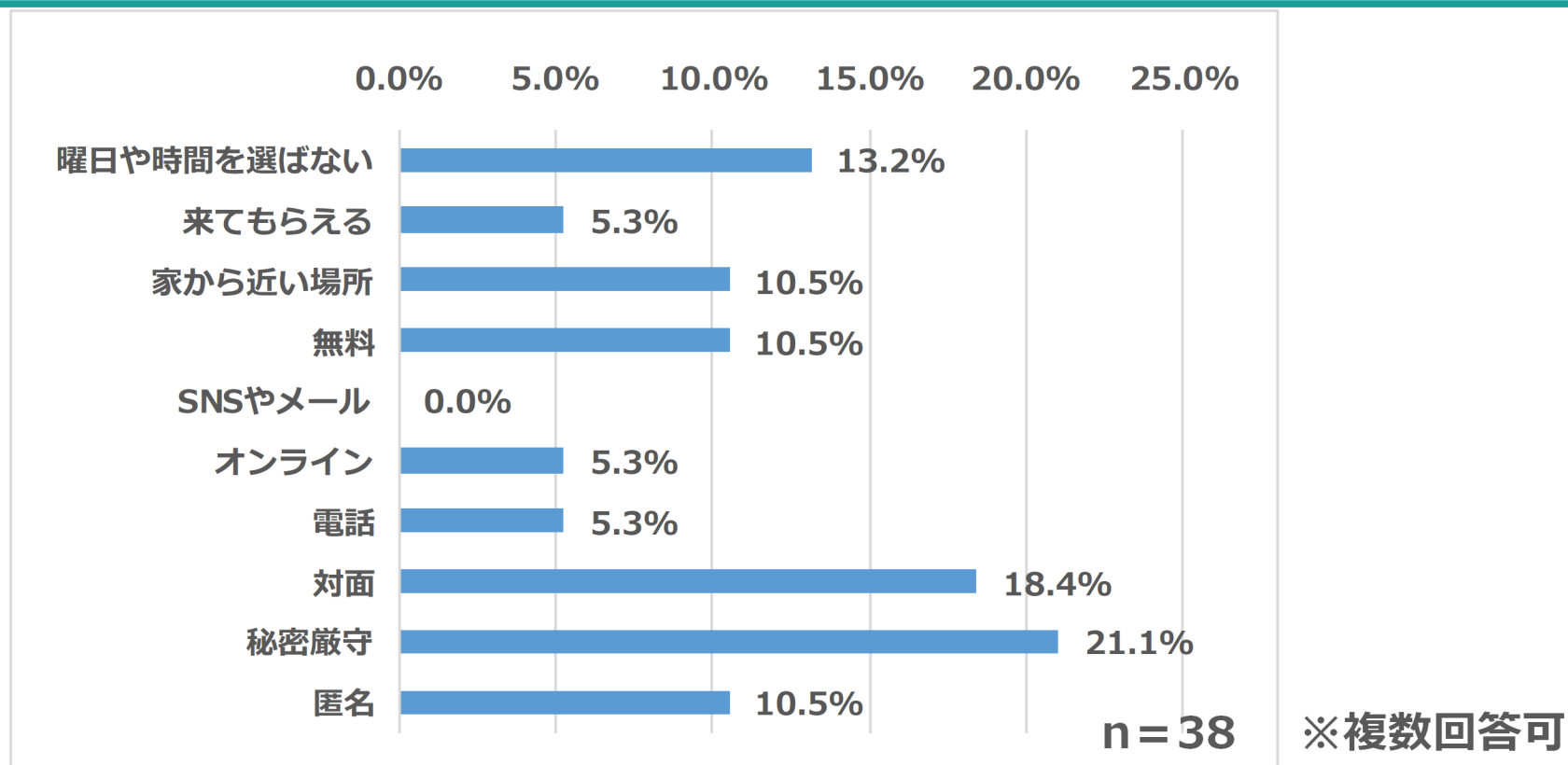


総評

最も多い回答は「居場所スタッフ」「専門家」「友達」で16.2%であった。次点で「親・きょうだい・家族」の回答が13.5%であった。「学校の先生」は0%であった。

3. 調査結果

5. 悩み事をどんな方法だと相談しやすいですか。 (したいと思いますか。)



総評

相談しやすい条件として最も多い回答は「秘密厳守」で21.1%であった。次点で「対面」が18.4%であった。「SNSやメール」は0%であった。

3. 調査結果

6. 市に求めることなどがあれば教えてください。

- 県外から来た時に居場所探しに苦労したので、チラシやネット、広報等で市内の居場所をどんどん紹介して欲しい。
- 現代社会において、何かしら生きづらさを抱えている人は子どもや若者に限ったことではないので、その解消の手段を行政にもしっかり考えてもらいたい。
- 居場所を運営するにも金銭的な問題は起こりやすいので、そこの補助をしてもらえると助かる。
- ヘルプマークに対する理解を少しでも増やしてほしい。